

総選挙

躍進! 日本共産党

8 → 21
議席に

自民党政治とたたかって20年
くらし応援のあたたかい県政を

党長野県書記長

山口のりひさ

戦争をする国づくり、くらしのゆきづまりなど、安倍暴走政治への不安や怒りとともに、政治を変える力が大きく広がっています。今こそ、地方政治が言うべきことを言うときです。国政選挙への挑戦など自民党政治に立ち向かって20年、これまでの経験をすべて生かし、くらしを支えるあたたかい県政のために全力でがんばります。



1960年生まれ54歳。信州大学人文学部卒。「政治と社会を変える生きがいある人生を」と民主青年同盟、党の専従職員に。衆参国政選挙6回挑戦、98年参院選長野県区では19.7万票で議席に迫る。現在、党県書記長。趣味はサイクリング。弁当作りでストレス解消。三輪在住。

やさしくたくましい

山口さん 主婦 今井 紀子



大病を経験された山口さんは、難病で苦しむ私の母を心配し、いつも寄り添い優しく語りかけてくれます。4人のお子さんを持ち、ご家族のお弁当を作り、早朝から活動されているたくましい山口さん、頑張ってください!

私の思い受け継ぐ人です

県議会議員 石坂 ちほ



弱い立場の人たちに温かい県政の光を——の私の思いも受け継いで、山口さんが、抜群の政策能力、論戦力を発揮して、県政改革や県民の皆さんの切実な願いを実現するために大活躍されることを期待しています。

大きくなった国会議員団と力合わせて 願い実現へさらに全力

願い実現の力が何倍も大きく

日本共産党は衆院21議席で、単独で議案を提案する権利を獲得。17の常任委員会すべてに委員を送りました(11常任委員会は複数)。また、党首討論に志位委員長が立ち、本会議や委員会の質問時間も大幅に増え、みなさんの声を届ける力が何倍も大きくなりました。



初登院する大きくなった日本共産党
衆議院議員団(2014年12月24日)

政党助成金廃止法案
を提出します!!

躍進した党国会議員団の一員として、安倍内閣の暴走に対決・対案・共同の立場で、党県議団と力をあわせて、国政と地方政治を結んでいきます。そのためには、国政に続き、長野県でも日本共産党を大きくするために力をおかしてください。

衆議院議員 藤野 保史

県民の願いを実現する力をもっと大きく、史上最高の8議席以上、2ケタ県議団をめざします。

県都で2議席



長野市区(10)

山口のりひさ(新)



長野市区(10)

和田あき子(現)



松本市区(6)

両角 友成(現)



上田市・小県郡区(4)

高村 京子(現)



佐久市・北佐久郡区(4)

ふじおか義英(現)



岡谷市・下諏訪町区(2)

もうり栄子(前)



塩尻市区(2)

びぜん光正(前)



上伊那郡区(2)

小林 伸陽(現)



飯田市区(3)

水野ちかあき(新)



須坂市・上高井郡区(2)

土谷ふみえ(新)

4月は
県議選
安倍暴走ストップ
平和とくらしを守る県政を!!